■堀井新治郎(2代・仁紀) 発明家、実業家。養父の元紀に従って謄写版を発明後、改良と企業化を進め、海外からも注文殺到。

ほりいしんじろう

佐賀の乱・・・1874＝

滋賀県蒲生郡朝日野村で、旧家で代官もつとめ醸造業も営む堀井家に生まれる。

地元の小学校に入り、

明治14年政変1881＝7歳：

岩倉具視没・1883＝9歳：

早くに、父が死去したことから、この年、元紀が養父として迎えられ、堀井家38代目を相続した。学制変革とともに、足利漢学塾に学び、

滋賀県立彦根中学校に通うが、病を得て、4年で中退、

帝国憲法発布1889＝15歳：

回復とともに、三井物産函館支店に入社し、商業見習いのかたわら、英語を学ぼうと、養父が開発に取り組む謄写版の必要を痛感するようになって、

大本教・・・1892＝18歳：

郡司千島探検1893＝19歳：

*官職を退いた養父に従って、三井物産を退社し、簡便な印刷機の開発に取り組み始め、養父が印刷機開発勉強のため米国シカゴ万博に赴いている間、研究費がかさみ窮乏状態、家財一切を売却してまで取組む姿に、周囲から狂気の沙汰とまでいわれるも信念揺るがず、より研究しやすい環境を求めて、祖母とともに上京し、神田鍛冶町に居を定めた後、養父が帰国、

日清戦争始・1894＝20歳：

ついに、謄写版(鉄筆製版)を発明し、神田鍛冶町で{謄写堂}創業。日本人一般には反響がなかったが、横浜の{ジャパンメール}に謄写版の広告を出し、早速外評価を得て商談が飛び込むも、事業を外国人に手渡すことはできないと耐え、なお生活に苦しんでいたところ、

日清戦争終・1895＝21歳：

謄写版原紙の特許をとるとともに、日清戦争中の大本営・陸海軍が軍事通信に謄写版を採用し、大量の注文を受けたことから、道が開け、販路拡張のため父子で全国行脚、月賦販売方式も採用し嚆矢となる。また、パラフィンの主成分とするタイプライター印版紙を開発、

松隈内閣・・・1896＝22歳：

八幡製鉄始・1897＝23歳：

Bushidou・・・1899＝25歳：

田中正造直訴1901＝27歳：

日露戦争始・1904＝30歳：

日露戦争終・1905＝31歳：

韓国反日暴動1907＝33歳：

韓国併合・・・1910＝36歳：

大逆事件判決1911＝37歳：

明治天皇没・1912＝38歳：

官庁・大学・商社・新聞・通信社で使われるようになり、事業拡大に合わせて改良・工夫を進める。

この年、結婚。記念博覧会(京都)で賞杯を受ける。

原紙に高知産の雁皮紙を使用、海外への市場を拡大する。

*養父が病のため鎌倉に隠居し、業務全般を継承する。

ミリアタイプ印版紙の原型を発明して、特許取得後も改良に不撓の努力を続け、

堀井輪転謄写機(第1単胴式)を完成、特許を受ける。

{謄写堂}上海支店を開設(以後、京城・天津・漢口・南京と出張所を開設する)。

第一次大戦始1914＝40歳：

21ヶ条要求・1915＝41歳：

ロシア革命・1917＝43歳：

湿潤式印版紙の発明を経て、

{謄写堂}を{堀井謄写堂本店}と改称。

養父が元紀と改名したのに伴い、新治郎を襲名する。

ベル仁条約・1919＝45歳：

*ついに、コロイドを主成分とするミリアタイプ印版紙を完成、海外に発表するや、製造販売の希望が殺到、謄写版に続く二大発明となる。

原敬首相暗殺1921＝47歳：

水平社結成・1922＝66歳：

帝国発明協会から謄写版とミリアタイプ印版紙それぞれに有効賞牌。

さらに、タイプライター自身を汚染しない乾燥式印版紙の開発研究を進め、

関東大震災・1923＝49歳：

大震災で店や倉庫が壊滅したため、

長野県の高原に堀井研究所を設置、

日本時代始・1926＝52歳：

金融恐慌・・・1927＝53歳：

共産党事件・1928＝54歳：

世界恐慌・・・1929＝55歳：

この年以降、米英を始め諸外国の特許を次々取得して行く。台盤移動式から原紙枠移動式に改良、

多糖類エステルを主成分とするタイプ印版紙を完成、海外への販路を飛躍的に拡大して行く。

帝国発明協会から謄写版とミリアタイプ印版紙それぞれに特等賞牌。日本産業協会総裁伏見宮より、産業貿易功労者の表彰を受ける。

海軍軍縮条約1930＝56歳：

堀井双胴式輪転謄写機を発売、堀井超紀元式謄写版を発売、東京謄写印刷同業組合を結成し、草間京平らに委嘱して海軍練習艦隊新聞班の孔版技術講習会にあたらせる。

満州事変・・・1931＝57歳：

五一五事件・1932＝58歳：

養父堀井新治郎(元紀)が死去した年には、全国各地に工場を有し、海外の販売先は支那・ロシア・フランス・インド・イギリスなどに及ぶ日本を代表する企業になるに至り、

芥川直木賞始1935＝61歳：

二二六事件・1936＝62歳：

日中戦争始・1937＝63歳：

第二次大戦始1939＝65歳：

海軍・艦隊などで講習会が盛ん、

堀井電動式複胴輪転謄写機完成、

米国特許を取得、

日米開戦・・・1941＝67歳：

{堀井謄写堂}が海軍監督工場に指定され、ジャカルタに工場新設、奉天・上海・京城にも工場設置。

この間、二男二女それぞれが一事業に専念するように独立させ、

敗戦・・・1945＝71歳：

新憲法公布・1946＝72歳：

朝鮮戦争始・1950＝76歳：

独立回復・・・1951＝77歳：

東京都の発明功労者として表彰され、

55年体制始・1955＝81歳：

全国総合計画1962＝88歳：

没した。